

専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある

専修学校 #知る専

メールマガジン 第11号

※本メールマガジンは、事務局に情報提供のご依頼をいただいた方及びご登録いただいた方に送付しています。お心当たりのない方は、事務局までご一報ください。

<<< 本日の配信内容 >>>

- #知る専リレーコラム [岡村 慎一 (学校法人 YIC 学院 学校法人京都中央学院 理事 統括本部長)]
- 【9月3日応募〆切】「#知る専」ロゴマーク募集を終了しました
- 本日の事業成果紹介 [専修学校留学生の受入れ体制整備]
- 文部科学省からのお知らせ
 1. 専修学校関係の令和4年度概算要求について
 2. 「マナパス」に新たに新機能が実装されました
 3. 【通知】 現下の新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた令和4年度以降の高等学校入学者選抜等における配慮等について (令和3年9月10日付) ※高等専修学校向け
 4. 【事務連絡】 専修学校 (高等課程) におけるやむを得ず学校に登校できない生徒等への ICT を活用した学習指導等について (令和3年8月30日付)
- 専修学校教職員向けセミナー・イベント等の情報提供のお願い
- 【随時募集中!】記事ご提供のお願い
- Web ページ「専修学校 #知る専」更新のお知らせ

■#知る専リレーコラム [岡村 慎一 (学校法人 YIC 学院 学校法人京都中央学院 理事 統括本部長)]

地域の発展に貢献する 地域の皆さんのための教育機関

(岡村 慎一 (学校法人 YIC 学院 学校法人京都中央学院 理事 統括本部長))

「地元で育ち、学び、働く」、そして未来の家族とともに生きる。そんな普通の幸せを素朴に願う。職業教育は、そんな幸福を自らの手で得るためのとても有効な手段だと思います。

専門学校では、地元を愛する教職員のサポートを得て、学生達は多様な職業に憧れ、専門的な知識と技能を身につけるために、ともに学び、地元に求められる自分磨きをします。

学生は、「なりたい姿」を求めて、当初は学び方もわからず、学習手段も改めて学び直すことで、学ぶ喜びや楽しさを感じ、徐々に主体的にクラス仲間と協働しながら成長します。やがて地域に貢献できる働き方を体験的に気づき、自律的に自らの生かす職場を見つけます。

そんなキャリアの成長プロセスが、専門学校にはあります。

その専門学校では、こんな光景を目にしたりします。

早朝、スタッフ自らが掃除しています。そこに、登校してくる学生が、笑顔で挨拶をしています。初等中等教育機関でも、同様の体験がある方もいますね。

教室では、朝学の国家試験問題を解いている学生がいます。また、パソコンに向かって自主的にプログラム作成や WEB デザインを作成している学生がいます。他の美容実習室では、学生がコンテストに向

けたワインディングの練習を仲間と黙々とやっています。学生ホールには、複数の学生が集まって、企業連携した課題について対話をしています。私に気づいた学生が、マスク越しでも笑顔を感じられる挨拶をしてくれます。

それぞれの学生が、生き生きと各自の学びを主体的に取り組んでいるのです。

学生達の未来の働く姿には、単に専門的な仕事に携わるだけではなく、地元で溶け込み仲間とともに笑顔で活躍している様子を、私は過去の先輩たちから想像できます。

専門学校には、非認知能力を育むプログラムが、専門教育とともに実は組み込まれています。

ジョブ型雇用と言われる昨今、専門的な技能が評価される時代となっています。そんな中でも、地元で人と人の繋がりを大切にしたい職場には、学ぶことに喜びを感じた経験を持ち、非認知能力を育まれた多くの専門学校卒業生がいます。彼らは、地域活性化に大切な人材となっていることを、評価されてもいいのではないかと考えています。

高等教育機関の中で、地元残留率が最も高いと思われる専門学校は、有効な地元を愛する人材を輩出することで、地域に貢献しています。

専門学校は、都道府県認可の有用な高等教育機関として、地域の産官学が柔軟かつ継続的に連携することが実行可能な生涯学習機関なのです。リカレント教育の必要性が言われる中、専門学校と企業や行政が、効果的かつ魅力的な取り組みを行う上で、地方創生に有効な地域人材基盤を作ることができると考えています。

■【9月3日応募〆切】「#知る専」ロゴマーク募集を終了しました

7月12日より、「専修学校 #知る専」のロゴマークを募集していましたが、9月3日に応募を締め切りました。たくさんの応募、ありがとうございました。

結果の発表は10月を予定しております。

■本日の事業成果紹介 [専修学校留学生の受入れ体制整備]

本項目では毎回、文部科学省より委託された専修学校関連の事業成果を紹介しています。

第11回の本日のテーマは「専修学校留学生の受入れ体制整備」です。

第9回(8月17日配信)では、専修学校における留学生への教育の在り方について、事業成果をご紹介しました。

同事業では、専修学校への留学生を戦略的に受け入れるための体制整備も目指しています。戦略的な受入れにおける取組としては、ターゲットとする国・分野の特定や、諸外国における専修学校の広報・周知・留学生の掘り起こし、国内企業とのマッチング・定着支援等が想定されています。

令和2年度には、7団体が、各地域における関係機関・団体と連携したモデル体制の構築を行いました。本事業の概要や成果については、下記をご覧ください。

○事業概要

https://www.mext.go.jp/content/20200508-mxt_shougai01-000007053_1.pdf

○成果物一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/20210630-mxt_kouhou02-1280784_4.pdf

※今回ご紹介した事業は下記です。

令和2年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業（各地域における留学生の戦略的受け入れに向けた体制整備）」

■文部科学省からのお知らせ

1. 専修学校関係の令和4年度概算要求について

文部科学省では、専修学校関係の令和4年度概算要求にあたり、「専修学校教育の振興に資する取組」「専修学校の教育体制及び施設整備等に関する取組」「専修学校への就学支援に資する取組」の3本柱を立て、それらに必要な経費を要求しています。

このたび、文部科学省ホームページにて関係資料を公表いたしましたので、ぜひご覧ください。

【詳しくはこちら】

https://www.mext.go.jp/content/20210907-mxt_syogai01-100003309_1.pdf

2. 「マナパス」に新たに新機能が実装されました

文部科学省事業で運営しております社会人の学びのためのポータルサイト「マナパス」に新機能が実装されました。「マナパス」ではこれまで約5,000の大学・専門学校等の社会人向け講座検索機能、学びのモデルを見つける修了生インタビュー、学びと社会のホットトピックを紹介する特集ページを中心にコンテンツ提供をしておりましたが、「社会人の学びの見える化」をテーマに新たに自らの学習内容を記録することが出来るマイページ機能を追加しました。社会人学習者の方は日々の学習の管理に、専門学校関係者の方は社会人受講生の方々への周知をお願いいたします。

また、オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツやアスリートへの関心が高まった方もいる中で、先日「アスリートのセカンドキャリア」に関する特集を公開しました。

取材を受けてくださった奥村武博様は、元阪神タイガース投手で引退後は公認会計士となり、その後アスリートのキャリアを応援するための「株式会社スポカチ」を創業いたしました。アスリートの学びを通じてのセカンドキャリアについても、是非この機会にご覧いただければと思います。

【詳しくはこちら】

<https://manapass.jp/>

3. 【通知】 現下の新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた令和4年度以降の高等学校入学者選抜等における配慮等について（令和3年9月10日付）※高等専修学校向け

令和4年度以降の高等専修学校入学者選抜等における新型コロナウイルス感染症の影響により必要となる配慮等については「新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた令和4年度以降の高等学校入学者選抜等における配慮等について」（令和3年6月4日付け3文科初第407号文部科学省初等中等教育局長、文部科学省総合教育政策局長通知。以下「令和4年度以降高等学校入学者選抜等配慮事項通知」という。）等でお示ししたところです。

新型コロナウイルス感染症については、デルタ株への置き換わり等が進む中で、全国的に新規感染者が依然として高い水準にあり、生徒等への感染も懸念されます。このような今般の状況を踏まえ、令和4年度以降高等学校入学者選抜等配慮事項通知に加えて、入学者選抜の実施に当たって各教育委員会や高等専修学校に御配慮いただきたい事項を取りまとめましたので、各高等専修学校等におかれては、入学者一人ひとりが安心して受検に臨めるよう、本通知についても十分に御配慮の上、令和4年度以降の高等専修学校入学者選抜を実施していただきますようお願いいたします。

【詳しくはこちら】

https://www.mext.go.jp/content/20210604-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

4. 【事務連絡】専修学校（高等課程）におけるやむを得ず学校に登校できない生徒等へのICTを活用した学習指導等について（令和3年8月30日付）

最近の感染者数の増加に伴い、夏季休業期間中の部活動などの教育活動の場面や学習塾などで相次いでクラスターが確認されており、生徒等の感染が更に拡大し、臨時休業や出席停止等により、やむを得ず専修学校に登校できない生徒等（以下、「やむを得ず学校に登校できない生徒等」という。）が増加することが懸念されます。

このことを踏まえ、「小学校、中学校及び高等学校等における新学期に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について」（令和3年8月20日付け文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課事務連絡）の中で、「やむを得ず登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導に関する事務連絡を、近日中に別途発出する予定」としたところですが、この度、別添「やむを得ず学校に登校できない児童生徒等へのICTを活用した学習指導等について」（令和3年8月27日付初等中等教育局情報教育・外国語教育課事務連絡）のとおりICTを活用した学習指導に関する留意事項等を取りまとめられています。

この中では、やむを得ず学校に登校できない生徒等へのICTを活用した学習指導に関する留意事項に加え、各高等専修学校において、GIGAスクール構想を踏まえて整備された学習者用情報端末（以下「ICT端末」という。）などを活用した学習活動を円滑に実施することができるよう、より実践的な資料として、「やむを得ず学校に登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導等を行うためのチェックリスト」（別紙1）及び「やむを得ず学校に登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導等自治体の事例」（別紙2）をお示ししています。これらをぜひ参照していただき、家庭とも連携しながら必要な環境整備や準備を早急に進め、非常時にあっても生徒等の学びを止めないという観点から、各高等専修学校におかれては、積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

また、文部科学省では、リーフレット「学びを止めない！これからの遠隔・オンライン教育」（別紙3）や「遠隔教育システム活用ガイドブック」の第3章「家庭学習を支援する遠隔・オンライン学習」などでも、優良事例や必要な環境整備について整理されていますので、併せて適宜参考としてください。

【詳しくはこちら】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_99901.html

■専修学校教職員向けセミナー・イベント等の情報提供のお願い

本メールマガジンでは、専修学校教職員に広く役立つセミナーやイベントのご紹介を予定しています。もし貴機関が主催されるセミナー・イベントで、掲載のご希望がありましたら、是非下記からお知らせください。

<https://shirusen.mext.go.jp/contact/>

※内容によっては、文部科学省と協議の上、お断りさせていただく場合もございます。予めご了承ください。

■【随時募集中！】記事ご提供のお願い

現在、以下の記事の募集を行っております。ご協力いただける専修学校様におかれましては下記の要領でご投稿いただけますと幸いです。なお、記事のご投稿に当たっては、個別の学校や学科の紹介に重点を置いた内容でないこと等、各投稿規程をご参照 (<https://shirusen.mext.go.jp/contents/>) ください。

- ・web サイトに掲載させていただく卒業生インタビュー記事の投稿
- ・web サイトに掲載させていただく学校の取組紹介記事の投稿

記事については 2021 年 1 月まで随時投稿を受けつけております。記事投稿をご希望の方は、[【https://shirusen.mext.go.jp/contact/】](https://shirusen.mext.go.jp/contact/) より ID 登録申請をお願いいたします。専修学校様からのご投稿をお待ちしております！

※動画の 7 月分の受付は終了いたしました。今年度、もう一度募集期間を設けさせていただく予定ですので、募集期間が近くなりましたら、改めて本メールマガジン等でお知らせいたします。

※7 月中に動画をご提供いただいた学校様に関しては、現在、掲載手続を行っておりますので、少々お待ちください。

■Web ページ「専修学校 #知る専」更新のお知らせ

メルマガ前号の配信から、Web ページ「専修学校 #知る専」にて以下を更新しました。

- ・仕事ムービー (4 件)
https://shirusen.mext.go.jp/movie_graduate/
- ・学校ムービー (10 件)
<https://shirusen.mext.go.jp/movie/>

・学校記事（1件）

<https://shirusen.mext.go.jp/topics/>

なお、メルマガ配信のタイミングにより、上記に掲載されていない更新もございます。あらかじめご了承ください。

「#知る専」メールマガジンに関する著作権は文部科学省・リレーコラム執筆者が有しています。商用目的又は営利目的での転載・複製は固くお断りいたします。バックナンバーをサイトにて公開しておりますので、専修学校関係者への共有にあたっては、サイトへのリンクをご利用ください。

本メールマガジンの配信停止を希望される場合は、以下のお問い合わせからご一報ください。

<https://shirusen.mext.go.jp/contact/>

★=====★

【専修学校 #知る専 事務局】
株式会社三菱総合研究所
（担当：久田、久保寺、山野内、沼田）
〒100-8141
東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号
<https://shirusen.mext.go.jp/contact/>

Web ページ : <https://shirusen.mext.go.jp/>
Twitter : https://twitter.com/senshu_shirusen
YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCzqZYCFzxM0zrfAHToeNVXA/featured>

★=====★